

# 知っておこう 令和4年度の台所事情

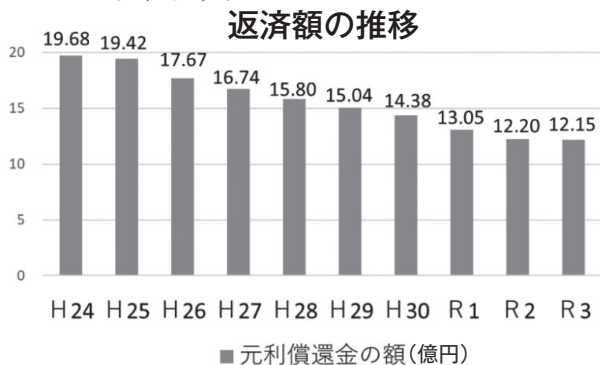
## 町の財政を家計簿に例えると②

情報ノート

### まちの借金(町債)はいくら?

月収30万円で月々2万8千円を返済

令和3年度の一般会計の借金(町債)返済額は12億1,505万円です。これを広報6月号で紹介したように、月収30万円(年収360万円)の家庭に例えると、月々およそ2万8千円(年33万6千円)のローンを返済したことになります。



町財政健全化プランが令和2年度で満期終了し、同プラン内の短期目標は全て達成されました。令和3年度からは新たに町行財政改革推進計画がスタートし、借り入れる町債額を8年間で80億円(10億/年)に抑えることで、長期ビジョンを明確にしつつ過剰な借金を抑制し、さらなる財政健全化を目指します。

### どうして借金をするの?

出費を長期返済で、将来にわたる公平負担

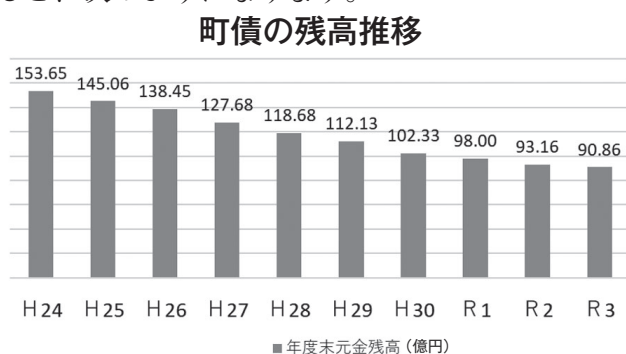
借金して買うことのできるモノ・サービスは法律で定められているので、何にでも好き勝手に使えるわけではありません。白老町の場合、道路や橋、港や学校など、大型の公共施設を整備するためには多額の費用がかかります。その費用を今あるお金で一度にまかなうと、今、住んでいる町民だけが大きく負担をすることになってしまいます。そのため、自動車や住宅ローンと同じように、町債という長期の借金を活用し、コツコツ返済することによって、将来にわたって公共施設を利用する皆さんにも公平に負担をしてもらうというわけです。

### 何に使っているの?

主は都市基盤整備

令和3年度の町債残高のうち、借入目的別でみると、次のようになります。

町債の種類	内容	残高(億円)
土木債	港湾建設、道路橋りょう、公営住宅の施設整備など	31.51
教育債	小中学校施設整備など	9.41
第三セクター推進債	第三セクターや特別会計の解散にかかる費用など	6.58
その他	臨時財政対策債(35.2)、商工債(1.9)、民生債(1.5)、消防債(0.9)、災害復旧債(0.7)など ※億円	43.36
合計		90.86



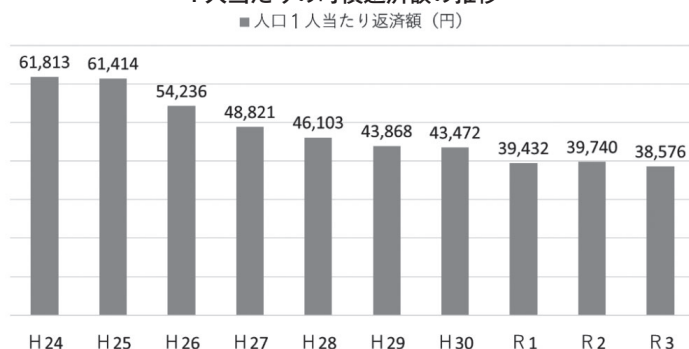
### 私たちは今どれくらい借金を負担しているの?

1人当たり38,576円

人口1人当たりの町債の返済額は、平成24年の61,813円をピークに減少傾向にあり、令和3年度時点で38,576円です(見込み数値)。

今後も行財政改革推進計画に基づき、長期的に安定した財政運営の実現を目指します。

1人当たりの町債返済額の推移



問い合わせ先：企画財政課 財政契約グループ ☎82-2714